

不老川（不老橋）生物調査経年変化

調査年度			S58	S60	S62	S63	H1	H2	H3	H8	H9	H12	H18	H22	H27	H30
底生生物			αm	αm	Ps	Ps	Ps	Ps	αm~Ps	Ps	αm~Ps	βm~αm	-	αm	βm~αm	※
付着藻類			αm	βm	Ps	αm	αm	αm	αm	αm	-	-	-	βm	βm	
BOD年平均値 (mg/l)			80	70	60	37	21	30	27	22	14	16	5.5	3.8	2.2	2.7
目名	科名	和名	魚類採捕数													
コイ	コイ	コイ	調 査 未 実 施	調 査 未 実 施	調 査 未 実 施	18	調 査 未 実 施	調 査 未 実 施	調 査 未 実 施	調 査 未 実 施	調 査 未 実 施	調 査 未 実 施	1	6	目視	※
		ギンブナ				3							4	10	5	
		ゲンゴロウブナ				2										
		オイカワ											13	58	22	
		ウグイ													4	
		モツゴ											37	1	7	
		タモロコ											3	2	2	
	ドジョウ	ドジョウ											5	3	1	
		カラドジョウ													1	
	ナマズ	ナマズ														
ダツ	メダカ	ミナミメダカ											17		3	
スズキ	ボラ	ボラ													5	
	ハゼ	ウキゴリ												1	1	
		ヌマチチブ													1	
種類数			-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	7	8	13	

・底生生物、付着藻類については、次の4種類の方法により水質階級を判定。
 (1) 優占種法 (2) Beck-Tsuda法 (3) Kolkwitz法 (4) 汚濁指数法
 0s: 貧腐水性 (きれいな水域) βm: 中腐水性 (ややきたない水域)
 αm: 中腐水性 (かなりきたない水域) Ps: 強腐水性 (極めてきたない水域)

※平成30年度の調査については、渇水のため砂久保橋で調査実施。詳細結果は抜粋版の表3-6をご覧ください。